

出席者	住民	24人	市 大城市長・宮下市民福祉部長 政策推進課 園部係長・金谷主事
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
建設課	※事前質疑 ブロック塀の 安全性の実態 把握について	<p>南海トラフ地震が現実味を帯びる現在、安全な避難道路の確保が一番の問題である。地震が発生するたびにブロック塀の安全性が気になる。ブロック塀の安全性を調査する「ブロック塀診断士」があると聞いた。</p> <p>さて、八幡浜市では、有資格者によるブロック塀の実態把握として、安全性のチェック、危険と判断されたブロック塀の撤去の呼びかけをしているのか現状を教えてください。</p>	<p>八幡浜市では、有資格者(ブロック塀診断士)によるブロック塀の実態把握は実施していないが、ブロック塀の安全性に関する個別相談があった場合は、現地にて安全性等を確認し、必要に応じてブロック塀の撤去・改修に関する支援(補助金)を実施している。</p> <p>(参考) 対象:避難路(通学路含む)の沿道に面するブロック塀 補助額:費用(8万円/m以内)の2/3以内 限度額30万円 予算:150万円(30万円×5件) 件数:予算の範囲内(5件/年程度) 実績:R4-6件(1,306千円) R5-5件(1,203千円) R6-3件(551千円)</p>
総務課	※事前質疑 発災後のビ ジョンについて	<p>発災後、避難場所(一次)で数日過ごし、その後の対応は考えているか。例えば、双岩へどの地区から何人とか、その地区で受け入れの考えがあるのであれば、備蓄品の充実をお願いしたい。</p>	<p>南海トラフ巨大地震などの大規模災害が発生した際には、まずは「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、身の安全を最優先に行動してほしい。</p> <p>その後、避難所への移動を検討することになるが、あらかじめ指定避難所を決めておくことは重要である一方で、発災直後に避難経路の安全を確認せずに移動すると、二次被害につながるおそれがある。</p> <p>このため、市としては、事前に一律で避難所を指定することは難しいと考えている。</p> <p>発災時には、できる限り早い段階で市内各地区の自主防災会等と連携し、道路や家屋などの被害状況、河川等の地理的条件を総合的に判断したうえで、開設可能な指定避難所を順次開設する方針である。</p> <p>また、指定避難所以外にも、自治館や集会所などの自主的な緊急避難場所を含め、利用可能な施設を最大限活用していく必要があると考えている。</p> <p>市指定の指定避難所は、市内全域で84施設115棟あり、それぞれの施設で想定収容人数を定めている。また、その中で双岩地区の指定避難所は、双岩小学校(校舎、体育館)、旧双岩中学校(校舎、体育館)、双岩地区公民館、双岩保育所の4施設になる。</p> <p>備蓄品に関しては、指定避難所の中から6施設を防災拠点と位置付け、備蓄品の配備数を増やしている。今後も市の財政状況を考え、できる限りの備蓄に努めるが、自助・共助の部分における各家庭や各自主防災会等における備蓄もお願いする。</p> <p>能登半島地震後に、避難所運営に携わった職員からは、能登半島地震直後は、避難所へ避難をし、その後安全を確認し、各家庭に帰り、食料や寝具等を避難所に持ち寄ったと聞いている。</p> <p>また、南海トラフ巨大地震が発生した場合、避難所生活の長期化対策は、最も重要な位置付けになると思う。</p> <p>市としては、市内のフジやJA西宇和、現在、保内町宮内に建設中のコメリなどの物資調達に関する協定を締結しているが、南海トラフ巨大地震が発生した場合は、市内や近隣市町の企業等も大きな被害を受けている可能性が高く、協定締結先の企業が保有する物資を確実に調達できるかは不透明である。</p> <p>その際には、愛媛県及び県下20市町での「災害時における愛媛県市町相互応援に関する協定書」や「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」及び「四国西南サミット災害時相互応援協定」など、県内、県外の市町とも連携し、有事の際の物資調達に努めたいと考えている。</p> <p>最後に、現在旧愛宕中学校の跡地利用に関して、庁内関係部署が集まり利用方法等の協議をしている。</p>

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
	※事前質疑 発災後のビジョンについて		(1ページの続き) 令和7年3月議会の市議会協議会で発表したとおり、白浜、江戸岡、松蔭の3地区自主防災会の備蓄物資保管倉庫を設置する予定としている。利用開始時期については、今年度中に空き教室を使用できるように進めていき、来年度当初には使用できるようにしたいと準備をしている。 (参考:防災拠点施設) 旧双岩中学校、旧真穴中学校、旧青石中学校、日土東地区公民館、喜木津体育館、旧神山児童クラブ
生涯学習課	旧図書館の移築方法と予算について	移築は建物をそのまま移動させるのか。  予算と市の負担額はいくらか。	ほとんど新築だが、階段など再利用可能な部材は活用する。  全体の予算は約2億円で、市の負担額は約3,000～4,000万円の見込みである。 【補足】 全体事業費は、約2億5,000万円。 財源は、国庫補助が1/2、残りは一般補助施設整備等事業債及び過疎債を活用することとしており、実質的な市の負担額は約8,500万円となる見込みである。 ※当初、過疎債(有利な起債)のみで措置した場合は、約3,000万円と見込んでいた。
建設課	危険性のあるブロック塀について	道が狭い広瀬2・3丁目のブロック塀について、危険性の現状把握と対策を検討してほしい。	ブロック塀の改修には市の補助制度(限度額30万円)があるため、活用を検討してほしい。
政策推進課・社会福祉課	愛宕中・松柏中跡地プロジェクトについて	松柏中学校跡地の養護老人ホーム建設計画は大変ありがたい。地元の人が地元で過ごせるよう施設の充実をお願いしたい。	要望として承る。
子育て支援課	旧児童館について	旧愛宕保育所の下にある閉鎖されたままの旧児童館を解体し、簡単な公園として整備できないか。	建物が古く活用は困難である。道路拡張工事の後に解体を検討するが、現時点では未定である。武道館の存続要望もあり、周辺施設全体の構想の中で検討していきたい。
総務課	家具固定・感震ブレイカー補助金について	家具固定や感震ブレイカーの補助金申請用紙がダウンロードのみで高齢者には不便である。公民館などにも設置してほしい。  また、補助金の「購入額の3/4」という表現が分かりにくいので、定額補助にしてはどうか。  そして、公民館で取りまとめた申請作業を代行できないか。	申請用紙の公民館設置については、担当課に伝え検討する。 【補足】 今後、申請書については、各地区公民館に配布する。  補助率は公平性の観点から設定しており、変更は難しい。 【補足】 この補助事業は、愛媛県と県下20市町が共同で実施しているため、補助率の変更はできない。  公民館との協議が必要なため、持ち帰り検討する。 【補足】 この補助事業は、個人に対する補助事業であるため、取りまとめた方に振り込むことは考えていないが、申請手続きは、1度で手続きが完了するように、申請書兼請求書と簡素化し、代理申請も可能としている。市窓口まで来ることが困難な避難行動要支援者などは、代理申請で対応してもらいたい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
総務課	感震ブレーカーについて	耐震ブレーカー3種類の長所・短所を教えてください。	<p>詳しい説明ができないため、後日回答する。</p> <p>【補足】 (メリット) 金額は、参考 ●簡易タイプ:3,000円～4,000円 工事不要で、ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として電気を遮断する。 ●コンセントタイプ:5,000円～20,000円 コンセント自体を取り替える工事が必要なタイプとコンセントに差し込むだけのタイプがある。コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断する。 ●分電盤タイプ(後付型):20,000円 分電盤内に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に限る。</p> <p>(デメリット) ① 誤作動による停電 ② 初期費用と保守費用 分電盤タイプは電気工事が必要であり、機器によっては定期的な点検や交換が必要になる場合がある。 ③ 夜間の避難におけるリスク 感震ブレーカーが作動し、停電になると、夜間では真っ暗になるため、懐中電灯などが必要となる。</p>
政策推進課	住宅改修支援について	アパート改修支援(最大1,200万円)の予算は、坪単価でどれくらいか。	<p>詳細な資料はないが、1戸あたり200万～300万円の補助で、複数戸を合わせて最大1,200万円という形だったと記憶している。</p> <p>【補足】 【八幡浜市民間賃貸住宅整備促進補助金】 リノベーションにおける補助限度額は以下のとおり。 ●市内業者が施工した場合 ①25㎡以上45㎡未満:90万円/戸 ②45㎡以上:120万円/戸 1棟あたりの限度額は1,200万円 ●市外業者が施工した場合 ①25㎡以上45㎡未満:60万円/戸 ②45㎡以上:80万円/戸 1棟あたりの限度額は800万円</p>
財政課	市貸出バスの利用料金について	婦人会で借りる市のバスの料金について、以前と料金が違うが、料金設定の基準(時間あたり等)を教えてください。	<p>バス自体の貸出は無料で、燃料代と運転手の人件費が実費となる。運転手の人件費が改定された可能性がある。料金体系の詳細を調査し、後日回答する。</p> <p>【補足】 一般貸出の場合、バスそのものの貸出は無料だが、運転事業者については申請団体で指定した事業者には依頼するようになっている。(八幡浜観光バス・シルバー人材センター・富士タクシー) そのため、市ではなくそれぞれの事業者の料金設定があることから、利用時に事業者を確認してもらう必要がある。 ※利用時期(行楽シーズン等)や、利用バスの種類(大型・マイクロ)によっても価格は変わってくるものと思われる。</p>
政策推進課	人口減少対策について	人口減少に歯止めをかけるため、シングルマザー向けの看護師学校など、特定のニーズに合った学校を誘致するような抜本的な対策を検討してほしい。	非常に難しい課題だが、常に人口減少対策は考えている。諦めることなく、そういった案件も検討していきたい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
	市長の健康管理法等について	市長の健康管理法、元気の源について知りたい。	「早寝早起き」「朝のヨガ」「飲酒を控える」こと。朝の時間を有意義に過ごすことが活力になっている。
市民課	戸籍附票の交付について	過去に戸籍の附票を問い合わせた際、将来的に一部発行できなくなる可能性を教えてもらえず困った。将来の制度変更も見越した案内をしてほしい。	いただいたご意見を基に、市民に対し公平・公正な対応ができるかを含め、内部で情報共有し、今後の対応を検討する。 【補足】 戸籍の附票については、市で独自の対応をすることが困難(国の法律に基づくもの)なため、制度変更がある場合は、早期に周知を図りたい。
市民課	おくやみ手続きについて	おくやみ手続きの際、還付金を受け取ると相続放棄ができなくなるリスクを説明してほしい。	いただいたご意見を基に、市民に対し公平・公正な対応ができるかを含め、内部で情報共有し、今後の対応を検討する。 【補足】 相続放棄に関わる還付金は、国保、後期高齢者の保険料だけでなく、高額療養費、所得税、住民税など多岐にわたる。 おくやみ手続きは、複数の課にまたがるサービスのため、いただいたご意見について、関係各課、係で協議し、今後の対応を検討したい。
建設課	愛宕山プロジェクトについて	以前の愛宕山プロジェクト説明会で、紙の資料がなく、橋の強度に関する質問にも「県の管轄なので分からない」と突き放され不親切だと感じた。住民目線の丁寧な対応を求める。	今後は、住民目線での対応を徹底する。また、橋に関する質問については県の対応を確認し、後日回答する。 【補足】 今後の説明会等においては、住民目線での対応を心掛けていく。 橋の強度・耐震性について、地震時の対策として橋桁が橋台から落下するのを防ぐために、落橋防止装置を設置し、レベル2地震動(まれに発生する非常に大きな地震動)に対する安全性を確保している。
生涯学習課	市民文化活動センターについて	文化活動センターのおかげで映画や美術鑑賞が楽しめ、大変感謝している。	ご意見に対する感謝を述べた。 【補足】 上映映画のリクエストも受け付けているため、ぜひ、ご活用いただきたい。
市民課	窓口対応について	市役所窓口で「管轄外」と突き放されることがある。どの課に行けばよいか案内を徹底してほしい。	まずは庁舎入口の「総合案内」を利用してほしい。職員の対応については指導を徹底する。 【補足】 市民課では、市民の方からお問い合わせいただいた場合は、可能な限り関連部署をご案内させていただいている。この件に関しては市役所全体で対応すべきと考える。
建設課	道路管理について	道路上の室外機、看板、はみ出した樹木、雑草を市で対応してほしい。	道路の管理区分(市道・県道等)に応じて対応する。個別の場所については調査に行く。
総務課	自転車運転のマナーについて	自転車のスマホ操作やタバコのポイ捨てなど、マナー違反の指導を強化できないか。	自転車のマナー違反は警察が厳しく取り締まっている。道路の不法占用は許されないため、個別に対応を検討する。 【補足】 自転車の「ながらスマホ」については、令和6年11月から道路交通法により取り締まりの対象となっている。今回、ご意見があったことを八幡浜警察署へ情報提供し、取り締まりの強化を依頼する。